

2024年度 実施概要

事業8年目を迎える本年度は、これまで培ったネットワークを活かし県民に秋田の海の課題や取り組みを発信する取材動画を実施。毎週日曜6:15～6:25の10分枠で放送を行い視聴者の習慣化をつけるとともに放送時間が長くなったことで内容も視聴者に丁寧に分かりやすく制作、放送後には海プロin秋田県のYouTubeで見逃し配信を実施している。また来期以降の取り組みを見据えて新しい企業・団体などにも積極的に巻き込みを図っている。その他昨年度から行っている産官学連携のオリジナル体験学習イベントでは県立大学と連携を行い学生サポーターが参加児童に丁寧に企画内容を指導する取り組みも行った。

オリジナル体験学習イベント

鳥海山が産み出す海産物！～あきたアワビ調査隊～

7月24日～25日に秋田県と山形県にまたがっている鳥海山から流れてくる伏流水が豊富なミネラルと栄養を蓄え海に流れつき、アワビや岩ガキなどの海産物に大きな恩恵を与え地域の生活を支えていることや、アワビの漁獲量をどうすれば回復出来るかなどをにかほ市をフィールドとして実施。応募者は県内から142名の申し込みがありその中からアンケートで特にやる気があり意識の高い小学生を選抜した。

アウトプットとして、参加児童が学んだ事やこれから自分たちが出来る事など一人一人が未来の海を思いながら絵を描き、その絵をにかほ市コミュニティバスの車体にラッピングし10月1日～2025年3月31日まで運行予定。



WEB運営

24年11月時点で
ニュースサイトPV数 75,413PV、
ニュース記事数 114記事達成。その他、SNS運営として「X」を運営し、情報発信に努めた。

海の取材動画

県内想定視聴者
890,000人に向け、秋田県の海の課題や取り組み、海に関するニュースやプロジェクト本体の活動、一般助成事業の活動を計22本放送。
(24年11月時点)

プロジェクト訴求動画

プロジェクト本体の
山場に合わせた連携広報として、海ごみゼロウィーク訴求動画、海とごちそうウィーク訴求動画、海と灯台ウィーク訴求動画を各15秒計221本放送。

これまでの課題と今後の展望

課題 1

県民の海への関心低下とどんな魚が水揚げされているのかの認識不足

課題 2

海水浴客のライフジャケット着用率の向上

課題 3

子供たちが海と触れ合う機会の少なさ



卸内市場を活用した市場体験ツアーを実施し、セリの様子や試食会など実施



水難救済会とコラボし海のそなえ講演会とフローティングアイテムの体験会を実施



オリジナル体験学習イベントを複数回実施、水族館との連携で海の仕事体験も行う